



第156号 2012年 10月4日	発行所 岡山大学職員組合
	〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1
	電話 086-252-1111 (代) 7168 (内線)
	直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <http://hb4.seikyounet.jp/home/ODUnion/>

メールアドレス ODUnion@mb4.seikyounet.jp

## 「組合」は、給与・労働条件の改善に責任を持って取り組んでいます！



岡山大学職員組合（連合体）は、昨年度、人事院勧告と国家公務員給与臨時特例法による給与削減に対し、法人側との団体交渉を繰り返してきました。アンケート調査で集めた教職員の皆さまの声を武器にして、給与削減幅を縮め、産前休暇を6週間から8週間に延長するなど労働条件を改善させるという成果を勝ち取ってきました。臨時特例法に基づく給与削減が教授等 9.77%、准教授等 7.77%、講師・助教等 5.77%に対し、岡山大学の6%、4%、2%は、東京大 4.31%、2.57%、1.05%、京都大 4.35%、2.50%、1.00%に続く、低い削減率になっています（ちなみに大阪大学はほぼ臨時特例法通り）。

今年度も、この2年間の給与削減に対する代償措置の要求、退職金削減阻止、労働契約法改正に伴う非常勤職員の雇用制度の改善、病院職員の労働条件の改善など、課題山積です。皆さまのご要望とご協力を原動力に、団体交渉に取り組んでいきたいと考えています。

以下に、これまでの団体交渉について法人側と交わした確認事項を掲載します。ご参照下さい。

### 団体交渉確認事項 2012-2

#### 団体交渉に基づく確認事項

岡山大学職員組合（以下組合）と国立大学法人岡山大学（以下法人）は2012年3月13日、2012年4月1日実施予定の給与改定に関する団体交渉を行い、以下の点を確認した。

1. 今回の給与改定は2011年度の人事院勧告に準拠するものである。
2. 平均0.23%の給与削減に関しては不利益遡及は行わず、2012年4月1日から実施する予定との報告を法人より受けた。組合は給与削減が行われる場合は代償措置を取ることを要求した。代償措置の具体的な内容については組合から改めて提案する。
3. 「現給補償」については2年後の2014年3月で廃止する予定との報告を受けた。組合は「現給補償」の対象者に「現給補償」を受けている旨を周知徹底することを要求した。
4. 若年・中堅層中心の昇給号俸回復については2012年、2013年、2014年の4月1日に実施される予定であるとの報告を受け、組合は了承した。
5. 法人は、看護師の給与について、震災対応の7.8%給与削減の問題に関しては、何らかの工夫が必要であると認識しており、病院と相談しながら検討する。
6. 就業規則の変更案を職員に周知する際には、すでに決定された事項であるという誤解を与えないよう文言に配慮することが約束された。

また、不利益変更の場合は、事前に就業規則の改正について大学から組合に連絡し、組合からの団体交渉要求には、大学はこれに応じ、丁寧に大学の考えを説明し意見交換することが確認された。

2012年5月21日

国立大学法人岡山大学学長

森田 潔



岡山大学職員組合執行委員長

住野 好 久



団体交渉確認事項 2012-3

## 団体交渉に基づく確認事項

岡山大学職員組合（以下「組合」という。）と国立大学法人岡山大学（以下「法人」という。）は、2012年5月23日及び30日にもたれた、労働組合法第6条に基づく団体交渉結果を以下のとおり確認した。

1. 組合の臨時特例法に対応した国立大学法人の給与削減に対する反対の姿勢は、法人も理解を示した。
2. 法人は、政府から明確な削減額の提示がない状況ではあるが、臨時特例法に対応するに当たって、実施を引き延ばすことで1ヶ月の削減額がより大きくなることを避けるために、6月1日から給与削減を実施する提案を行った。
3. 提案は、臨時特例法を機械的に適用するのではなく、法人としての自律的な判断に基づくもので、特例法よりも削減幅を縮小し、大学病院医療職員、附属学校園教育職員、短時間勤務非常勤職員などの適用除外を含むものであった。
4. 運営費交付金削減額が予想を上回る場合とともに、削減額が予想を下回る場合もあわせて、「削減額が予想と大きく乖離する場合」には改めて検討することとなった。
5. 運営費交付金削減額が予想を下回った場合に、その余剰金を建物建設などに使用しないことを含め、その使用方法については改めて検討することを法人は確認した。
6. 組合は、給与削減実施前に学長による全職員に対する説明会を要求したが、法人は、説明会で一部の職員に説明をするのではなく、より多くの職員に文章にして伝えることが大切であるとの判断の下、学長から全職員へのメッセージをメールで発信することとなった。
7. 6月1日付けの給与削減における代償措置について、23日の団体交渉において①全学における産前休暇の6週間から8週間への延長、②全職員に対する新しい特別休暇実施の検討をあげたが、組合はこの2つの代償措置では不十分とした。今後、法人は、組合の意見も聴きながら、代償措置について検討することになった。
8. 法人は、臨時特例法による2年の期間が終われば、この給与削減措置の実施をとりやめることを確認した。
9. 組合から、今後の代償措置について協議を継続することの要望があり、法人は要望があれば対応する旨回答した。

2012年8月7日

国立大学法人岡山大学学長

森田 潔



岡山大学職員組合執行委員長

住野 好久



## 私たちに、あなたの力を！

昨年度、執行委員長として初めて団体交渉に挑むとき、「この交渉で全教職員の給与が決まるんだ」と考えると、団体交渉に取り組むことの重大さ、その責任の重さに押しつぶされそうになりました。でも、「私たち組合執行部には全学の仲間がついている。私たちの要求はすべての組合員の要求なんだ」と思うと力が湧いてきました。

団体交渉で成果を上げるためには、たくさんの組合員の皆さまの声が必要です。1人でも多くの教職員の皆さまに、組合員になっていただきたいと強く願っています。非常勤職員の方も入れます。

皆さまの生活と権利を守る岡山大学職員組合に是非ご加入下さい。そして、働きがいのある岡山大学をともにつくっていきましょう！（住野好久）



## ～ 2012年度新旧役員交流会 “MOMO DE ビアガー電” で ～

8月31日(金) 18時30分～20時30分



例年行われている連合体の「新旧役員交流会」、今年は歯学部単組小河先生のコーディネートにより、岡山市内を運行している路面電車の最新車両である MOMO2 軌道車内のビアガーデンで

ある「ビアガー電」を会場に開催された。パーティが開催可能な路面電車が運行している都市は世界的にも珍しく、それだけでも楽しい企画である。

18:30の「発車」に間に合うよう、岡本書記と私で追加の飲料とオードブル、そしてデザートを買出して岡山駅前ステーションに集合すると、先週の東北災害復興ボランティアに参加した藤原書記長の土産がさらに加わり、食べ物は十分であった。車内では工場直送のビール、ワイン、そしてソフトドリンクが3杯と、軌道車内で食されることに掛けた「軌内食」が提供された。

コースは岡山駅前駅から東山駅、そして岡山駅前駅に戻った後に清輝橋駅に向かい、最後に岡山駅前駅に戻る。端駅では30分程度の休憩が取られ、この間にお手洗いや料理の追加を行った。さらに途中参加の役員が乗車したり、自宅最寄り駅での途中降車なども行われた。



もちろん、新旧役員間で組合を取り巻く様々な問題について活発な討論が行われたのは言うまでもない。さらに藤原書記長の iPad を駆使したボランティアレポートも印象的であった。ひたすら食べて飲み、軌道車内から市内に行く人々にビアジョッキのアピールを試みていたのは私だけであった。

伝統を重んじつつも時代の変化に対応し、新進の事象を積極的に取り入れて行こうとする岡山大学職員組合の気風が如実に現れた、豊かな交流会であった。(山川純次)



### ○ビアガー電に参加して

岡電の路面電車に揺られながら、おいしいお酒とおつまみ。なあって贅沢な時間なんだろう・・・と飲みモードに入ろうとしたのも束の間、「なに！？それはいかんですね！」と、車内ではいつの間にか、研究環境や労働条件についての問題提起が始まっていました。さすがです。こうした交流会の時間こそ、「アルコール様」の力を大いにお借りして(?)、日々考えている“よりよい岡大のあり方”について思いっきり意見を闘わせなくてはなりません。もちろん、大きな笑いも交えながら。そんな新旧役員懇談会がありました・・・。(吾妻 聡)

### 組合合唱団(アメージング・グレースを歌う会)へのお誘い



月3回、金曜日の午後6時から7時半まで、岡山北公民館で練習をしています。金曜日の夕方なので、最初は疲れがたまっているように感じることもありますが、歌い始めて30分もすると不思議なことに疲労感がなくなり声の伸びもよくなり、90分があつという間に終わってしまいます。不思議なことに、歌い終わる頃には、先程までの疲労感が爽快感に変わっています。

合唱が初めてという方も結構です。興味がおありの方は、組合事務室までご連絡下さい。

(内7168)

## ～ 新執行委員紹介～

### 法文経単組（経済系） 春名章二

今年度初めて連合体の執行委員になりました春名（経済学部）と申します。専門は産業組織論で、研究開発と寡占企業及び技術流出と企業の生産性に関する研究を行っています。独立法人でありながら、国立大学の教職員の給与削減等が年度初めから行われるなど、私共は厳しい状況に置かれております。このよう中、より良い研究・教育条件の確立と生活を守るために少しでもお手伝いできればと思っております。生来右も左も分から無い者ですが、宜しくお願ひ申し上げます。



### 法文経単組（法学系） 中村 誠

情報法・情報政策を専門分野とし、主に個人情報保護を研究しています。

情報社会は、知的生産が社会の基盤として重要性が増大する社会であり、私たちの多忙化は、大学の役割に対する期待が高まっている証しでもあります。職場環境の改善や教職員の親睦を進めて、気持ち良く働くことができる場を作りたいと思います。

8年ほど前から岡大職員組合合唱団に参加しています。指導の先生は、欠点を言わず長所をほめるので、いい気持ちになって楽しく歌っています。よろしくお願ひいたします。



### 教育学部単組 梶谷信之

このたび教育学部教職員組合執行委員長に選出されました梶谷信之です。10年以上前に組合の委員として仕事をさせていただいたことがあります。久しぶりですので現在の状況もわからず不安を抱えながらの1年になるかと思ひます。さて、私は昭和63年に岡山大学教養部に就任しましたが、教養部廃止後は教育学部への配置替えとなりました。教養部廃止を経験する中で、岡山大学という組織の大きさと影響をあらためて実感いたしました。そして、同時に教職員組合の意義も認識できました。

この一年は、これまでの経験を活かしながら、精一杯頑張っていきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

### 教育学部単組 大竹喜久



このたび、連合体執行委員に選出されました教育学部の大竹です。単組では書記長を務めています。私は、その日その日をどう過ごしていくかということに頭がいっぱいで、労働者としての自分の身分について考えてみるとか、「組合員の幸せのために自分は何かができるのか」と自分に問うてみるとか、そういったことは、正直、まったくありませんでした。今回、執行委員という役割を与えていただいたので、ほんの少しだけではありますが、こうしたことを考えてみたいと思います。組合活動に関しては本当に素人ですが、1年間、よろしくお願ひいたします。

### 農学部単組 三木直子

平成24年度連合体執行委員をつとめさせていただくことになりました農学部の三木と申します。農学部単組では書記を担当しております。今回の臨時特例法の件などから、労働環境問題は現在進行形のものであることを再認識しました。執行委員の活動を通して、我々を取り巻く社会や大学内の様々な情勢を学び、労働環境について考えていきたいと思ひます。組合員の皆様より適切な職場環境の形成につながるよう微力ではありますが取り組んでまいりたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

### 工学部単組（機械システム系学科） 大西 孝

本年度から執行委員を拝命しまして身の引き締まる思ひです。2年間と短い間でしたが建設機械メーカーに勤務していたことがあり、そこでも労働組合で活動に携わっていました。岡山大学でも組合員の皆様、そして大学全体がより良くなるように微力ながら組合活動をお手伝いできればと身の引き締まる思ひです。

趣味は全国を旅することで、これまでに全47都道府県を訪れました。学生時代は専らローカル線を乗り継いで夜行列車に泊まるという貧乏旅行でしたが、今思うと時間に余裕があったからこそできた、贅沢な旅行だったように思ひます。仕事で忙しい中でも、うまく時間を作ってのんびりと旅行ができればと考えています。

趣味もさることながら、容姿も「男はつらいよ」の寅さんに似ているとよく言われます。小生の名前がわからなくても「寅さん」と覚えていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

#### 附属学校園単組（小学校） 山本展之

今年度、附属学校園の執行委員長をさせていただいております、附属小学校のやまもとのぶゆきと申します。

他学部の場合とは異なり、職場には学生ではなく、子どもがたくさんおります。このため、なかなか他学部の執行委員さんとお会いすることができません。みなさんには、たいへんご迷惑をおかけしております。

自分のできることを一生懸命がんばってまいりますので、よろしく願いいたします。

#### 附属学校園単組（小学校） 中野晃江

今年度、単組書記長と連合体執行委員を務めさせていただきます、岡山大学教育学部附属小学校の中野晃江です。

転勤して2年目になります。分からないことがまだまだ多くありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



## 東日本大震災復興支援 ボランティアに参加して

～写真で見る震災1年半後の被災地 その1～

藤原 貴生

8月22～25日にかけて、大学コンソーシアム岡山が主催する東日本大震災復興支援ボランティアに参加してきました。学生主体の企画で学生36名、大学教職員6名、企業職員9名の計51名の参加がありました。岡山大学からは学生は0名でしたが、教職員は私ともう一方の2名が参加しました。ボランティア活動は、岩手県の大槌町で行われました。津波で流されたフェリーが建物に載っている様子がテレビなどで報道されて有名になった町です。

事前説明会では、震災から1年以上が経過した現在の風景から震災直後のような衝撃を受けることはないだろうとのことでしたが、実際に現地

に行ってみて、広大な土地が更地になったままの状態に少なからぬショックを受けました。瓦礫はほとんど片付いていて、震災直後に写真や映像によって伝えられたような悲惨な状況は無くなっていましたが、1年半が経過しても全く復興が進んでいない様子に複雑な心境にさせられました。

この連載では、現地で撮影した写真を中心に私が見たり聞いたりしたことを紹介していきます。



高台から眺めた現在の町の様子です。津波によって海岸近くの低地の建物はすべて流されてしまいました。震災から1年半が経過した現在もそこに新しい住居は建てられておらず更地のままでした。残されたコンクリートの基礎によって、かつて建物だったところがわかります。いくつかの家の跡地には、犠牲になった方に手向けられた花が供えられていました。



震災当時、避難所になった大槌稲荷神社への入り口です。大槌稲荷神社は、今回、活動拠点として宿泊させていただき、宮司をはじめ神社とその関係の方々には大変お世話になりました。

コンクリートの壁に見える幾つもの筋は、津波で押し流されて来た瓦礫によってつけられたものです。坂道のフェンスは、海水に浸かった部分

が津波の力で傾いていました。大きな赤い鳥居は、津波で沖まで流されてしまい、昨年の暮れによく持って帰ってきて元の場所に建て直すことができたのだそうです。



高さ5メートルはあろうかという堤防も津波は難なく乗り越えてしまいました。はしごの鉄パイプは、一番上の部分が津波の力で歪んでしまっていました。

今回の震災では、堤防が津波を反射して入り江の対岸に大きな被害を出したり、長期間にわたって陸地に海水を押し留めたり、視界を遮り津波の察知を鈍らせ逃げ遅れる人をだしたりなど、大きな堤防が徒となり反って被害を増大させた面があるとのことでした。

ちなみに地震の直後に堤防の上にあがって海を見た人によれば、潮が遠くまで引いてしまい海底の岩が露わになっていたそうです。そして、はるか沖合からブルドーザーを4~5台縦に重ねて横一列に並べた、まるで壁のような津波が迫ってくるのが見えたのだそうです。その人は、津波を目撃したあと一目散に高台に向かって走り、ぎりぎりのところで難を逃れたとのことでした。



地震で地盤が1~2メートル低くなってしまったために堤防の内側に大きな潮だまりができていました。

町では震災後に海岸付近の土地全体をかさ上げするという話もでたそうですが、けっきょくその話は無くなってしまったとのことでした。港に続く道路だけ、かさ上げして新しく舗装し直されていました。



震災直後に大量にあった瓦礫は、ほとんど見られなくなりましたが、所々に小さな山を築いていました。

### 無料法律相談 『ユニオン』をご利用ください

セクハラ、アカハラなどの労働環境問題、あるいは個人的な問題でも結構です。プライバシーを厳守するために、組合執行部とは別組織である人権部が相談を受け付けています。法的な相談をしたい組合員のために顧問弁護士を置き、希望者には、最初の弁護士相談を無料で受けられる「ユニオン」を設けています。

法律相談は、随時、弁護士事務所で行います。

相談を希望される方は、人権部までお申し込みください。

連絡先：新村容子 文学部教授 内線 7411

## ローカル線で行く！フーテン旅行記

工学部 大西孝

### 第1回 北近畿タンゴ鉄道で行く天橋立の旅

「狭い日本そんなに急いでどこへ行く」なんて言葉がありますが、そうは言っても日本は地域色が豊かで、訪れるべきところもたくさんあります。私はこれまでに全国47都道府県を行脚しましたが、それぞれの土地に特色があり、どこも鮮明に記憶に残っています。飛行機や新幹線は快適でその速達性は素晴らしいですが、一方で地域の香りを肌で感じることができるローカル線にも捨てがたい魅力があります。地元の方言を聞きながら車内で特産品のぎっしり詰まった駅弁を食べるといった旅行も、旅行好きには至高のひとつです。

そこで今回から、私の独断と偏見で、これまで印象に残ったローカル線の旅行記をお届けします。

記念すべき第1回は、北近畿タンゴ鉄道で行く天橋立の旅。北近畿タンゴ鉄道は、京都府の福知山から東は舞鶴、西は兵庫県の豊岡を結ぶ第3セクター鉄道です。JR線ではないので、青春18きっぷは使えませんが各種の乗り放題切符が用意されています。京都駅から直通する特急列車もありますが、なんとといってもおすすめは、北近畿タンゴ鉄道線内の観光列車。たとえば天橋立駅から西舞鶴駅まで運転される「タンゴ浪漫号」は、特急に使用される車両を特別料金不要で利用できる乗り得列車です。車両は観光バスのように床が高く天井まで大きな窓が設置されており眺望は抜群で、日本海がきれいに見えるところで一時停止したり、由良川の鉄橋では減速して景色を存分に楽しませてくれます。乗車時間も1時間弱ですから、快適なミニトリップといったところです。

天橋立は松林が対岸まで続いており、天橋立駅の周辺には「三人寄れば文殊の知恵」で有名な文殊菩薩を祭る智恩寺があり、対岸には龍神社（このじんじゃ）や天橋立を一望できる傘松公園があります。船や徒歩でも対岸へ渡ることができますが、天気のいい日はレンタサイクルも便利です。

智恩寺周辺の飲食店や土産物店で借りることができ、天橋立の松林を20分ほど走り抜けて気ままに対岸の観光地を周遊できます。

日本三景の一つ天橋立、岡山からもそう遠くはありませんので一度、足を運ばれてはいかががでしょうか。美しい日本海と松並木の織り成す光景はいつ見ても素晴らしいものです。



タンゴ浪漫号、特急用の車両で運転ですが特別料金は不要です



天橋立駅側から見た天橋立



対岸へはレンタサイクルが快適です

### \*あなたも組合の仲間になりませんか？\*

あなたの声を大学運営に、労働条件改善に反映させてみませんか？私たちは、あなたの参加を期待しています。

主な活動：団体交渉、学長懇談会研究科長・各部長・病院長と交渉、講演会、学習会の開催、レクリエーション活動、コーラスサークルなど

## 単組だより

### 教育学部職組より

#### ビアパーティ報告



2012年8月3日(金)19:00より、海鮮居酒屋「はなの舞」(岡山本町店)にて教育学部職員組合主催の懇親会「ビア・パーティ」を開催致しました。

当日は酷暑のなかで教育学部オープンキャンパスが開催されたこともあって多事多端・疲労困憊の状態であったにもかかわらず、23名の教職員(組合員18名、非組合員5名)にご参加いただくことができました。単組執行委員長の梶谷先生のまさに時宜を得たご発声から始まり、岡山大学職員組合執行委員長の住野先生から結び言葉を頂戴するまでの2時間余の間、今年4月に新たに着任された3名の先生方が加わっていただいたこともあって、大変明るくにぎやかで、それでいて最後まで「勢い」が衰えない懇親会となりました。参加していただきました皆さまには、(当日不覚にも飲みすぎで言いそびれてしまったので)この場を借りて心より御礼申し上げます。

今回初めて試みた「特典」(懇親会と併せて新規に組合加入を申し込んでいただいた方を対象としたもの)がどの程度奏功したかはさておき、これからも「一手間」加えた企画を用意して、教職員の皆さまをお待ち申し上げたく存じます。今後とも、どうかよろしく願い申し上げます。(比斯麦)

## 「組合だより」が カラー化されました!

この号より、「組合だより」はカラー印刷を行います。これは今年度の定期大会で決定された活動方針にある「タイムリーな内容で読みやすい『組合だより』の編集・毎月発行を目指します。」にもとづくものです。

新しいカラー印刷機を購入し、連合体事務所(一般教育棟A棟1階)に設置しました。組合活動で使用する際には使用料は無料とします(印刷する紙は持参すること)ので、どうぞご活用下さい。

詳細は組合事務所(内線7168)まで。

### 法文経職組より

#### ビール大会開催報告

法文経職員組合では、7月25日午後6時から恒例の「ビール大会」を開催し、約40名が参加しました。普段、学部を超えたコミュニケーションの機会は少ないため、本大会は貴重な機会となっています。例年、ビールだけでなく、世界のワインや日本酒も取り寄せ、その味を楽しんでいます。

今年は、東日本大震災の被災者支援をしている本学の学生・職員の団体である「おかやまバトン」の学生にも参加してもらい、福島の子どもを岡山に招待する活動などの紹介をしてもらうとともに、募金に協力しました。



また、岡山大学職員組合が寄附している「AMD A」の被災地支援活動を紹介するパネルをお借りして展示を行いました。他方、「ジャズ同好会」の学生にジャズの生演奏をしてもらい、サマーナイトのひとときを楽しむことができました。

「あそぼうといえば あそぼうと答える。助け合おうといえば 助け合おうとこたえる。こだまでしょうか いいえわたしたちです。」そんな関係をつくりたいと思います。(中村 誠)



#### 教員アンケートのお礼

教員の皆様、7月には、全国大学高専教職員組合アンケートに229通のご回答をいただき、ありがとうございました。全国大学高専教職員組合にて、集計後、結果をご報告させていただきます。なお、締め切りを10月末まで延長していますので、まだの方は、各単組の組合役員にお渡しくださるか、学内便にて組合までお送りください。